



松柏中学校アーカイブ通信 第25号 2024年11月11日発行

きらめきタイム「アーカイブコース」責任者：山村 好克
(タイトルの背景は旧校舎)

松柏中学校校歌に関して(続報)

通信第24号(11月6日発行)から1週間もたたないうちに、校歌に関して新たな情報や発見があったので紹介します。

通信第24号を読まれた方から「作詞をした菊池啓泰先生には、高校でお世話になった。」「松柏中学校校歌だけでなく、私が卒業した学校の校歌も清家嘉寿恵という方が作曲した。」といった声をいただきました。また、生徒の中からは「私の祖父が第8期の卒業生で、校歌碑を建てた生徒になる。」といった証言も。(確かに卒業生名簿に名前がありました。)作曲をした菊池啓泰さんは、その後は高校の国語科教師として活躍され、この校歌碑完成のときは宇和高校で教鞭を執られていました。



【1980年9月7日の除幕式の様子】

1980年1月、1954(昭和29)年度卒業生が同級会を開いた際、「恩師作詞による校歌を永遠に親しまれる記念碑として建立し、共に自分たちのシンボルにしよう。」という話が持ち上がり、建立につながったそうです。

また、校歌碑建立や除幕式を報じた当時の新聞3紙の記事を読んでいくと、そのうちの2紙が「校歌の1番と2番」を黒御影石に刻んだと報道しています。これは単なるミスなのか、それとも当時は1番と2番を歌っていたからなのか、新たな謎です。ちなみに碑には「何番」とは刻まれておらず、1番と3番の歌詞が記されています。



【1954年度卒業生】

「校歌の父」が作曲！

「他にも清家さんが作曲した校歌がある」という情報から、関連する資料を取り出し、調べました。清家嘉寿恵(せいけかずえ・男性です)さんが作曲した校歌は軽く100曲を越えていました。それも東中南予・小中高まんべんなくです。

市内では松柏中学校と八幡浜工業高等学校がそうです。近隣では三崎高校、三崎中、串中、町見中、野村中、野村高などの校歌がそうです。私学では新田高もです。

清家さんは、北宇和郡松野町の出身で、戦前は愛大教育学部の前身になる旧制愛媛県師範学校で講師、戦後の新制愛媛大学教育学部の助教授として1970年まで作曲を学生に指導されています。加えて、学外では様々な県内の音楽活動のリーダーとして活躍され、校歌の作曲にも関わられた、知られざる「愛媛の校歌の父」なのだそうです。「清家嘉寿恵」で検索すると、13分ほどの動画が見つかります。

※参考資料 ・ 土井中照『愛媛の校歌』2007年・アトラス出版
・ 『愛媛大学教育学部百年史』1984年・教育文化出版

「閉校記念誌」制作状況

ページ数では約3分の2、記念誌の根幹に当たる77年分の沿革史の部分のゲラが出来上がり、印刷会社から松柏中に届けられました。今月中に本校教職員で朱入れ・校正を進めていきます。残り3分の1は文化祭や運動会といったテーマごと(各2ページ程度)の紙面です。今年度分を含め、原稿を完成させ、11月末に入稿します。先日の文化祭で「きらめきタイム」アーカイブコースが展示・発表したテーマごとの情報や、1980年頃の松柏中学校校区の復元地図も原稿に入れました。年内校了を目指します。

余談ですが、今号のように、資料を集めていく中で、関われば関わるほど謎が増えていきます。入稿締切ぎりぎりまで未だに「もがいて」いますが、これは仕方ないですね。

松柏中のスクールカラーが「臙脂(えんじ)」である由来を御存知の方、情報をお願いします。